

(案)

平成29年 月 日

二宮町長
村田 邦子 様

二宮町総合戦略評価委員会
会 長 後 藤 伸

二宮町総合戦略政策評価に係る意見書の提出について

このたび、「二宮町総合戦略」の総合戦略政策評価に対し、二宮町総合戦略評価委員会としての意見を「総合戦略政策評価シート」のとおり、とりまとめました。

また、とりまとめに際し、本委員会において、さまざまな意見交換が行われましたので、「二宮町総合戦略政策評価について（意見）」として、別添のとおり、提出します。

ご一読のうえ、今後の「二宮町総合戦略」の推進に活用くださいますよう、お願い申し上げます。

二宮町総合戦略評価について（意見）

「二宮町総合戦略」に掲げる4つの基本目標について、各委員の経験や知見を活かし、町民としての視点、また第三者としての視点から、客観的及び具体的に、今後の「二宮町総合戦略」の推進に有効なものとなるよう、議論を進めてきました。

今回、外部評価を行った4本の基本目標については、いずれも目標達成に向け、必要と考えられる取り組みが展開され、1年目の取り組みとしては、全体として、概ね順調に進捗していると評価しました。

しかしながら、全国各地において、人口減少・少子高齢化を喫緊の課題として、これに立ち向かうべく、さまざまな取り組みが展開され、今や熾烈な都市間競争となっている状況を考慮すれば、この総合戦略をさらに推進するためには、これまでの延長線上の取り組みにとどまることなく、この町の強みを最大限活かすための工夫や改善の余地があると考えます。

少子高齢化の加速度的な進展による人口減少と社会構造の変化により、多くの課題を抱える難しい時代を迎えた今、行政は多様化・高度化する課題に対し、これまで以上に機動的で的確な行政運営の推進が求められます。それを実行に移すためには、この町を取り巻く社会情勢や町民ニーズを把握し、必要性や今までの成果を考慮した上で、優先順位の明確化や予算配分の見直しをする等、絶えず改革・改善の視点に立った効果的・効率的な取り組みが不可欠です。加えて、町は従来の組織構造を打破し、組織の壁を超えて力を結集し、組織力の強化を図るとともに、地域にある多様な主体が持つ力を最大限引き出すことに努め、官民一体となって、まちづくりに取り組むことが必要です。町の各担当部署においては、ぜひともこの意見を真摯に受け止め、今後の二宮町の地方創生に向けた町政運営に活かしていただきたいと思います。

最後に、この意見書が「二宮町人口ビジョン」の実現に寄与するとともに、町民の負託に応える町政の実現の一助となることを期待します。

総合戦略政策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
基本的方向	<p>大きな雇用を産む産業や、著名な観光地を持たないこの町の最大の財産は人であり、人と人との繋がりでであることを再確認し、そこから生まれる、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを、二宮町総合戦略の第1の基本目標とします。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するためには、出生率の向上と子育て家庭の定住促進が不可欠となりますが、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域とは、子育てがしやすい地域であるとともに、誰もが健康でいきいきと生活することができ、安心して住み続けられる地域であることも必要になります。</p> <p>この二宮町総合戦略を機に、改めて地域コミュニティを見直し、子どもも大人も、誰もがいつでも気軽に地域との繋がりを持てるような取り組みや、多世代の交流を促進するとともに、町民生活を支える公共施設のマネジメント、防災・防犯のまちづくりを推進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
住み続けたいと思う町民の割合	76.50%				上昇	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」を達成するために設定した4つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>人口減少や少子高齢化の進展に伴い、コミュニティ基盤の弱体化や地域での交流の希薄化に拍車がかかっている現状を打破し、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域を実現するためには、行政のみならず、地域の中にある潜在的な力を掘り起し、その力を引き上げ、相互に連携する仕組みを構築することが必要である。今後は、これまで以上に、地域や関係機関等との連携を強化し、協議・検討を重ねながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。</p> <p>高齢化、核家族化等により、人々はさまざまな課題を抱え、行政による支援は欠かすことができない。しかし、持続可能な財政運営の視点から考えると、行政主導の支援だけではなく、地域の潜在的な力を活性化することで、地域の課題解決を図る必要がある。</p> <p>そのため、行政は、町の中で公共施設をどうしていくかというハード面からのアプローチと、二宮の強みである「人」に主眼を置き、個人が持つ知識や経験を生かし、それぞれが能力を発揮するためにどうしていくのかというソフト面からのアプローチにより、住民レベルでの主体的・自立的な取り組みを支援する必要がある。また、取り組みの評価には、他者と比較することで、自身の強みや課題が見えることから、目標への達成度合いだけでなく、ターゲットを明確にした上で、数字の比較をすることも不可欠である。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい地域の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性	
-----	--

総合戦略政策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
基本的方向	<p>二宮町人口ビジョンを実現するためには町外への転出を抑制するとともに、子育て家庭を中心とした転入を促進する等、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出することが求められます。</p> <p>より多くの人々に「住んで良かった」と実感してもらうため、子育て家庭をはじめ、町内外問わず幅広い人々に対し、町の良さを活かした新しい暮らし方を提案・発信するとともに、定住希望者の希望を叶える環境をつくることを、二宮町総合戦略の第2の基本目標とします。</p> <p>そのため、町の自然・教育・文化・観光等を活かした特色ある取り組みを推進し、効果的なプロモーションを行います。</p> <p>定住促進のためには定住希望者のニーズに対応する住宅供給が求められます。そのため、空き家等の既存ストックを有効活用した定住支援を行います。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町の人口	28,479人				27,168人以上	
二宮町の社会移動数	転出超過 213人				転出超過 58人以下	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる」を達成するために設定した3つの施策は、概ね順調に進行している。</p> <p>多様な世代から、この町が選ばれ、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出するためには、子育てや教育等の環境づくりに努めるとともに、この町が持つ魅力を掘り下げ、それらを磨き上げることで、他にはないこの町ならではの魅力を、町内外問わず、幅広く発信していくことが必要である。今後は、これまで以上に各施策の連携を意識しながら、創意工夫による効果的な事業展開により、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input checked="" type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮の強みを活かした魅力あるくらしを提案し、新しい人の流れをつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は順調ではあるが、さらなる推進のためには、打つべき方策が他にもあり、一部、施策を改善する必要があると考える。</p> <p>この町に今までとは違う新たな「人の流れ」を創出するには、この町が選ばれるよう、多くの人を引き付けるような町の魅力を生み出す必要がある。</p> <p>そのために、町は、行政主導の取り組みだけでなく、民間レベルでの多様な活動を喚起する支援を行うとともに、たとえばボランティアによる町の案内や美化・清掃等、町民との協働による活動を通じて、町を挙げた「おもてなし」の力を醸成し、この町を選んで来る人を迎える準備が必要である。同時に、定住促進を目的とした空き家等の施策については、空き家の実態調査の結果を踏まえた上で既存制度が抱える課題を明らかにし、その改善策を示すとともに、適宜、周辺市町や県との連携を図りながら、有効に機能させなければならない。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより生まれた町の魅力を、従来の方方法にとらわれず、自ら進んで発信することで、より多くの人々に「住んで良かった」を実感してもらえらることに繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性	（この欄は空欄です）
-----	------------

総合戦略政策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
基本的方向	<p>町では、これまで妊娠期、出産期、育児期における切れ目ない支援の充実・強化に向けた様々な取り組みを進めてきました。しかしながら、子育て家庭が抱える様々なニーズに対応するためには、行政サービスだけでは限界があります。父親の育児参加しやすい環境づくりや民間サービスの導入促進、地域ぐるみでの見守り・支え合い等を含め、様々な主体の連携・協力のもとで子育て家庭が安心して妊娠・出産・子育てできる環境を実現することを二宮町総合戦略の第3の目標とします。</p> <p>そのため、まずは子ども・子育てサービスに関する情報発信の強化や民間サービスを含めたサービスの更なる質の向上を目指すとともに、「安心な・暮らしやすい・住みやすい・住み続けたい」地域づくりを活かした、地域ぐるみでの見守り・支えあいの環境づくりを進めます。</p> <p>また、子育て家庭が子育てしやすい環境を整えるため、子どもが安全に遊べる環境づくり、子育て家族が安心して外出できる環境づくりを行います。</p> <p>さらに、子育てと仕事の両立を目指し、長時間労働の改善といった男性の働き方の見直し等を啓発し、子育て中の親が仕事と生活の調和を図ることができ、かつ、多様な働き方ができる環境づくりを行います。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
安心して結婚・出産・子育てできる社会になっていると思う人の割合	32%				40%	
合計特殊出生率	1.19				1.4以上	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」を達成するために設定した2つの施策は、順調に進行している。</p> <p>人口減少、少子高齢化社会において、若い世代が結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境を実現するためには、目の前の課題にきめ細やかに対応するとともに、先を見据えた、効果的・効率的な事業展開が必要である。これまで以上に、社会情勢の変化を的確に把握し、多様なニーズを汲み取りながら、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。</p> <p>少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化等による、家庭や地域を取り巻く社会環境の変化に伴い、増大・多様化する保育ニーズに対応するためには、町全体で子育てを応援する機運を醸成する必要がある。</p> <p>そのために、町は、既存の保育資源を最大限活用するとともに、保育環境の基盤である人材確保の支援を行うことで、保育サービスの充実や資質の維持・向上を図る必要がある。また、他市町村との差別化を図るべく、既成概念にとらわれずに、思い切った方策を取る気概を示すことも、時には必要である。</p> <p>さらに、町は、ワーク・ライフ・バランスに対する正しい理解を深めるための普及啓発を行うとともに、育児休業を希望する男性職員が取得しやすい職場環境の整備等、積極的に子育てに関わる職員を支援し、一人ひとりが働きやすい環境の実現に向けて、先導的な役割を担うことが期待される。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりに繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性	（この欄は空欄です）
-----	------------

総合戦略政策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
基本的方向	<p>町が将来にわたって地域の活力を維持し、持続可能なまちづくりを展開するためには、町内に新たな産業と雇用を生み出し、ヒト・モノ・カネを循環させることによって、町内経済を好転させ、人々が安心して生活を営むことができるまちをつくることが求められています。</p> <p>二宮町人口ビジョンを実現するために、きめ細やかな対応によって身近な地域で働きたい人々の希望を叶える起業・雇用環境をつくることで、「誰もが生涯現役」となれる環境をつくることを第4の基本目標とします。</p> <p>ベッドタウンである本町にとっては、日常生活に必要な小売業や医療・福祉サービスといった生活に密着した産業の集積が大きな課題です。そのため、既存産業に対する就業支援等を行うとともに、町の資源を活用した新たな産業の可能性についての検討や空き家・空き店舗と創業希望者とのマッチング支援等、新たな取り組み、起業・就業機会の拡大を促進します。</p>

数値目標

指標名	実績の推移				目標値	備考
	計画策定時	H28	H29	H30		
二宮町民の就業者割合	54.3%				上昇	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
	<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
	説明	<p>基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」を達成するために設定した3つの施策のうち、2つの施策は概ね順調に進行し、1つは未着手である。</p> <p>今後、3つの施策について、相互に連携を図りながら、ヒト・モノ・カネの循環という視点から、「誰もが生涯現役」となれるよう、身近な地域で働きたい人の選択肢を増やすことにより、基本目標の達成に向け、取り組みを推進する。</p>

外部評価 [二宮町総合戦略評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1：国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）に基づく基本目標として良好であるため、引き続き達成に向けて推進する
<input type="checkbox"/>	2：基本目標の達成に向けた進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3：基本目標の達成状況を検証する数値目標を見直す必要がある
意見等	<p>基本目標「二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる」については、目標達成に向けた進捗状況は良好であり、引き続き推進する必要があると考える。</p> <p>起業・雇用環境の整備には、景気動向をはじめとした経済社会情勢の複数の要因が絡まっており、町単独の取り組みでは解決が困難な課題もあるが、人口減少のスピードを少しでも緩和する意味でも、引き続き、活力ある産業の創出や雇用の確保に取り組む必要がある。</p> <p>そのために、これまで同様に、既存の町内事業者の事業継続・拡大支援や関係機関と連携したフォローアップに加えて、起業に挑戦する人を幅広く後押しし、新たな産業の創出を図る必要がある。同時に、財源をはじめとした行政資源は今後ますます縮小することから、選択と集中の視点を持ち、効率的・効果的な配分となるよう、十分な検討が不可欠である。さらに、地域の課題解決をより促進するために、学生が持つパワーや柔軟で斬新なアイデアをまちづくりに活用できるよう、学校との連携のあり方を検討する必要がある。</p> <p>こうした取り組みを一体的に推進することにより、誰もが安心して定住し、働ける環境の実現に繋がると考える。</p>

町の最終方針 [庁内評価委員会]

方向性	
-----	--